

平成28年度進行管理・評価シート
水戸市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成25年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 備前堀沿道地区都市景観形成助成事業	4
3 北三の丸通り道路景観整備事業	5
4 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金	6
4 交付事業	
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財指定, 調査, 保存活用計画策定等の推進	7
2 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	8
3 文化財に関する普及・啓発の推進	9
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「弘道館入館8万人超」他	10

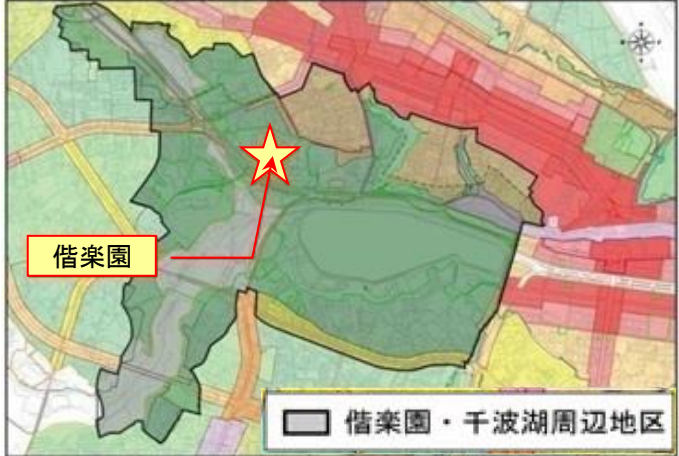
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	12
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ: 計画の推進及び改定に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会: 計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会: 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条第1項の規定により組織。計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成21年度より主要事業に順次着手しており、「水戸市補助機関に関する規定」に基づき、文化財保護行政を統括する教育部長を委員長に、都市計画行政を統括する都市計画部長を副委員長に置き、庁内の関係課長をもって組織する「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」を設置し、本計画の策定及び推進などに関する各部課間の合意形成及び連絡調整を行う。 【各会議の実施回数】 水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (1回)		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	来年度に水戸市歴史的風致維持向上計画の第2期計画策定に向けて、関係者・関係機関との連携をさらに強化し、十分な調整を図っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (会長・副会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長) ○第1回:平成28年7月11日開催 ・平成27年度進行管理・評価シートについて ・水戸城大手門, 二の丸角櫓, 土塀整備基本計画及び基本設計について		
		
水戸市歴史的風致維持向上計画協議会		

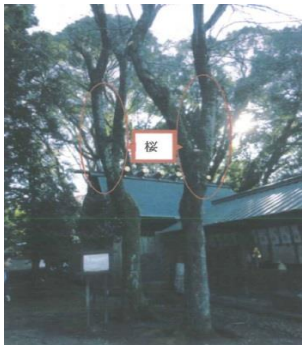
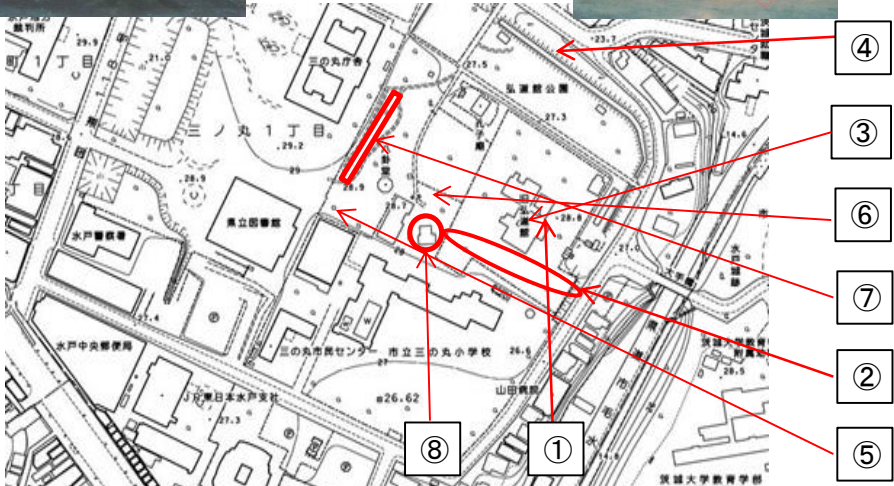
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
水戸市景観計画の活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び水戸市都市景観条例(平成4年度施行)により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図っている。(平成28年度届出件数:31件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図っている。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図っている(平成28年度許可件数:607件(水戸市全域))。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域:水戸市全域)。		 弘道館 弘道館周辺地区	
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他			
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。			
		 偕楽園 偕楽園・千波湖周辺地区 屋外広告物特別規制地区 <凡例> 赤…商業地域 緑…第一種低層住宅専用地域 黄…第一種住居地域 濃赤…防火地域 紫…準工業地域	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
弘道館公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等統合活用整備事業費国庫補助, 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備国庫補助等		
計画に記載している内容	保存活用計画の策定, 施設の保存修理, 案内施設の整備等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 弘道館の歴史性を踏まえた環境整備を進め, 魅力向上を図るため, 平成28年度は次に掲げる事業に着手するとともに, 茨城県が保存活用計画書を29年3月に策定した。 ①国老詰所前の集水管修繕(県) ②水道管の撤去及び新設(市) ③十間量廊下 漆喰壁2枚(正庁)の補修(平成27年度～)(県) ④台風の影響による樹木折損部分の撤去(弘道館公園)(県) ⑤種梅記碑を囲んでいる木製外柵の修繕(県) ⑥鹿島神社鈴梅付近のツバキ・キンモクセイの伐採 ⑦ベンチの撤去・新設(弘道館公園)(県) ⑧鹿島神社社殿両脇の桜(4本), カエデ(1本)の伐採			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成29年度からは, 保存活用計画に基づき文化財の価値が最大限に発揮できる整備を実施予定。		
状況を示す写真や資料等			
⑦ 撤去前  ⑦ 新設後  ⑧ 伐採前  ⑧ 伐採後  			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
備前堀沿道地区都市景観形成助成事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成15年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 備前堀沿道区域における優れた都市景観づくり(備前堀の持つ歴史性と調和した和風による統一感のあるまちなみの形成)に寄与する行為に対して、助成金を予算の範囲内で交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度助成事業:28年度は、助成対象範囲の建造物所有者から助成依頼がなく、整備を行わなかった。
※備前堀景観推進協議会との打ち合わせ2回

進捗状況 ※計画年次との対応

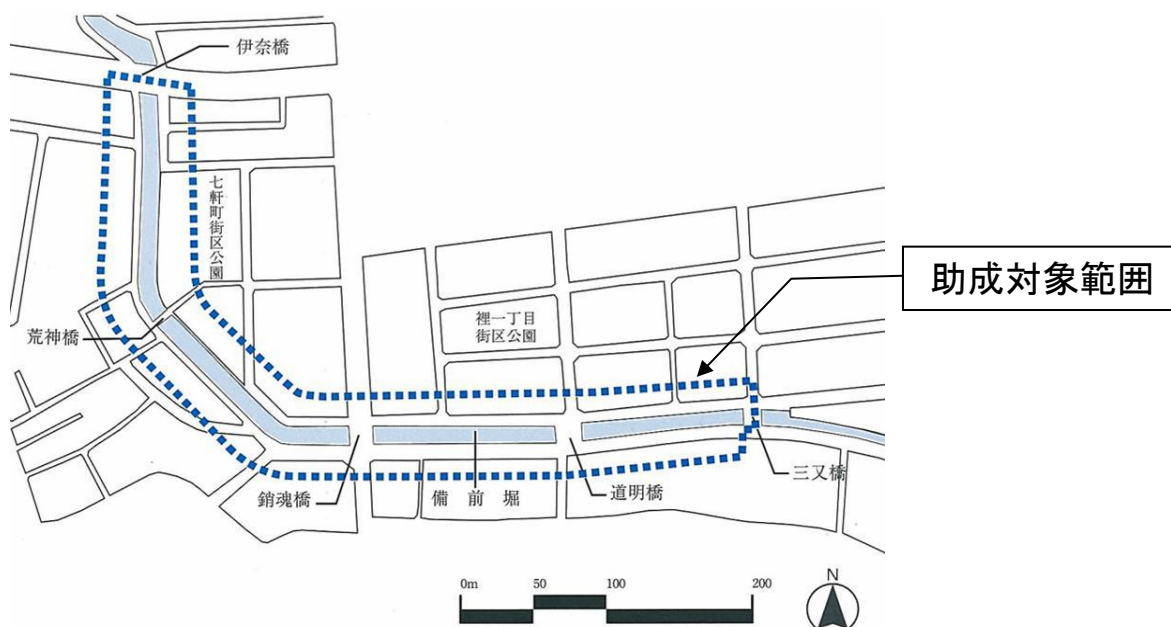
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

平成15年度より始まった当該事業について、すでに該当区域の建造物の2割にあたる12件の助成を行っており、着実に進捗している。更なる助成に向け、今後も地元の景観推進団体である「備前堀景観推進協議会」とも意見交換を行いながら積極的に支援を行い、備前堀の歴史性を活かしたまちなみ形成の維持向上に努める。

状況を示す写真や資料等

備前堀沿道地区都市景観形成助成事業対象範囲



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
北三の丸通り道路景観整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 北三の丸通り(都市計画道路3・4・14号栄町若宮線)の道路改良・電線共同溝事業を実施し、周辺地区の歴史的風致の維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

28年度は、整備予定区間(延長590m)のうち、延長165mの電線共同溝工事を実施した。

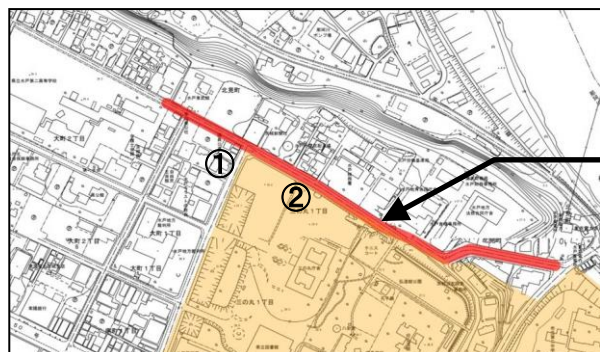
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

道路景観整備事業



■ 整備予定箇所

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 平成19年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、市内の民俗芸能団体の活動に対し補助金を交付し、重点区域を含む各地域の歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを、官民協働により推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

○助成団体：6団体（大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会、水戸市民俗芸能団体協議会）

・助成金総額：660千円

○水戸市郷土民俗芸能のつどい（水戸市民俗芸能団体協議会）（参加者260名）

・助成金総額：1,800千円

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

後継者が慢性的に不足していることや周知の場が少ないことから、「風土記の丘ふるさとまつり」や「市郷土民俗芸能のつどい」等のイベントへの参加を促し、伝統芸能の伝承、公開に努める。

状況を示す写真や資料等



大野のみろくばやし(大野みろくばやし保存会)

風土記の丘ふるさとまつり

開催日：平成28年11月13日

開催場所：大串貝塚ふれあい公園



はしご乗り(水戸若鷺会)

消防出初式

開催日：平成29年1月8日

開催場所：ケーズデンキスタジアム水戸（消防出初式）



大根むき花(大根むき花保存会)



田谷の棒術(杖友会)

水戸市郷土民俗芸能のつどい

開催日：平成29年2月25日

開催場所：水戸芸術館

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成28年度水戸市指定文化財】

①鹿島神社本殿・拝殿・中門及び瑞垣（附設計図9点）

指定年月日：平成29年2月3日

【平成28年度に実施した文化財の調査】

①石河明善日記（市指定文化財）の翻刻（年15回）、関連講座の開催（年2回）

②市指定天然記念物ヒカリモ（備前町）の調査（12回）

【史跡の保存活用計画策定に向けた学術会議の開催】

①史跡吉田古墳（1回）

（水戸市史跡等整備検討専門委員会議）

②史跡台渡里官衙遺跡群（1回）

（水戸市史跡等整備検討専門委員会議）

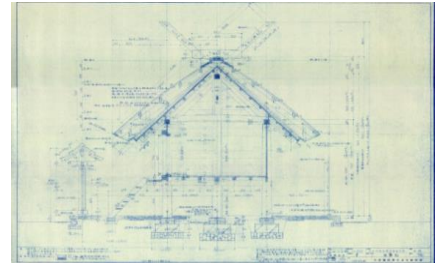
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本市には、指定文化財のほかにも指定文化財に匹敵する魅力を持つ文化遺産が数多く存在している。指定、未指定に関わらず、地域において守り伝えられている歴史的資源の調査・活用を図る。

状況を示す写真や資料等

平成28年度 市指定文化財



① 鹿島神社本殿・拝殿・中門及び瑞垣



(設計図)

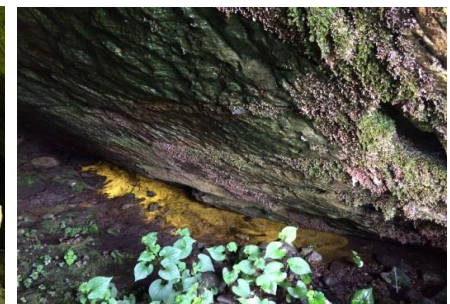
文化財の調査



石河明善日記の調査



ヒカリモの調査



保存活用計画の策定に向けた取組



史跡吉田古墳の保存活用計画の策定に向けた会議



史跡台渡里官衙遺跡群発掘調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目	現在の状況	
文化財の修理、整備、防災事業の推進	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】 文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】 防災体制、設備の整備を図るとともに、防災訓練や啓発事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【文化財の修理事業】 ○六地藏寺典籍文書保存修理事業 昭和48年から、六地藏寺に伝わる六地藏寺所蔵典籍・文書(県指定文化財)の保存修理を順次実施し、平成28年度は、「理趣釋秘傳抄」など計20点の文書等の裏打ち補修を実施した。 ○四脚門修理事業(六地藏寺) 平成23年3月に発生した東日本大震災で、門全体のゆがみが生じたため、修復工事を進めた。(～平成30年度) ○四脚門修理事業(薬王院) 平成23年3月に発生した東日本大震災で、平葺瓦のずれや棟瓦積の移動・不陸が生じ、雨水が浸透しつつあるため、平葺瓦と棟瓦積を一度取り外し、下地野地の破損部を補修し、破損瓦を取替えて葺き直す修理を行った。 【文化財の防災事業】 ○文化財防火デーの実施 (平成29年1月26日、於：東光寺、参加者33名) 東光寺の協力のもと、市指定文化財に指定されている「東光寺薬師堂及び厨子」からの出火を想定した防災訓練を実施した。 【文化財の整備事業】 ○文化遺産説明板等の設置 先賢士指導標柱修繕(常磐共有墓地、祇園寺) 備前堀歴史ロード看板修繕 文化遺産説明板の新設及び修繕(吉田神社の秋季祭礼、慷慨淋漓の碑拓本及び台石、鹿島神社本殿・拝殿・中門及び瑞垣、河和田城跡、常磐共有墓地)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財の防火・防災については、今後も周辺地域による協力体制の強化と定期的な訓練を実施していくことが重要である。 文化財の修理・整備については、市内の文化遺産説明板の老朽化が目立つため、計画的に修繕を進める。	
状況を示す写真や資料等		
【文化財の整備事業】 修理前  修理後  先賢士指導標柱修繕(常磐共有墓地) 修理前  修理後  四脚門修理事業(薬王院)		【文化財の修理事業】 修理前  修理後  六地藏寺典籍文書保存修理事業 【文化財の防災事業】  文化財防火デー 開催日：平成29年1月26日 開催場所：東光寺

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財に関する普及・啓発の推進		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成28年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】

- ①平成28年4月1日～4月15日・8月1日～8月15日・12月21～1月9日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔
- ②平成28年8月6日～平成28年9月25日 県立歴史館・市立博物館共催展「千波湖の歴史と自然-みんな、いのちがつながっている」 場所:県立歴史館 来館者:14,857名
- ③平成28年7月23日・9月10日 かやぶき体験教室 場所:埋蔵文化財センター 参加者:計87名
- ④平成28年8月3日・8月10日 水戸郷土かるためぐり 場所:護国神社ほか3か所 参加者:70名
- ⑤平成28年7月31日・8月9日(出前講座)・21日・11月13日 勾玉をつくろう 場所:埋蔵文化財センター 参加者:241名
- ⑥平成28年8月20日 ダイダラボウ大昔たんけん隊 場所:埋蔵文化財センター 参加者:106名
- ⑦平成28年10月12日・19日・26日 史跡めぐり 場所:日鉦記念館ほか県北方面 参加者:105名
- ⑧平成28年10月15日～12月25日 企画展 MITO HANIWA Collection 2016 場所:埋蔵文化財センター 投票数:321票
- ⑨平成28年11月13日 風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来園者:5500名
- ⑩平成28年11月・12月・平成29年1月 実体験講座「昭和のくらし体験」対象:市内外小学校 計31校 参加者:1,181名
- ⑪平成28年11月12日 水戸市・学校法人梅村学園中京大学学官連携事業 歴史講演会 場所:総合教育研究所 参加者:250名
- ⑫平成28年11月19日・20日 全国歴史の道会議茨城県大会「水戸道中・水戸城下町・棚倉道 ～歴史の道を活かした郷土郷土愛の醸成～」 場所:県民文化センター(歴史の道ウォーキングは市内) 参加者:講演会400名・歴史の道ウォーキング43名
- ⑬平成29年1月8日～1月29日 水戸郷土かるた大会 場所:市内各所 参加者:1,112名
- ⑭平成29年2月4日 日本遺産講演会 場所:県総合福祉会館 参加者:300名
- ⑮平成29年2月18日 水戸郷土かるた中央大会 場所:茨城県武道館 参加者:380名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない
- 今後も引き続き、本市の歴史的資源について、地域に向けた積極的な発信に努めるとともに、本市の魅力向上に向けた普及・啓発事業を推進する。

状況を示す写真や資料等



①文化財ライトアップ



②県立歴史館・市立博物館共催展



③かやぶき体験教室



④水戸郷土かるためぐり



⑤勾玉をつくろう



⑥ダイダラボウ大昔たんけん隊



⑦史跡めぐり



⑧風土記の丘ふるさとまつり



⑩昭和のくらし体験



⑪歴史講演会



⑭日本遺産講演会



⑮水戸郷土かるた中央大会

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
弘道館入館 8 万人超	平成28年5月3日	毎日新聞
弘道館 孔子廟などを特別公開	平成28年5月9日	NHK水戸放送局
日本遺産特別給食 水戸の小学校で 1 周年記念授業	平成28年5月10日	産経新聞
日本遺産 弘道館 来館者 3 割増 認定 1 年, 知名度向上	平成28年5月15日	茨城新聞
朱家と水戸徳川家親交温める 舜水の子孫・育成さんら弘道館訪問	平成28年5月15日	朝日新聞
藤田東湖の書「麗澤」弘道館に寄贈	平成28年5月17日	茨城新聞・東京新聞
かるたでたどる水戸の名所	平成28年8月4日	朝日新聞
千波湖の自然と歴史紹介 水戸で特別展 鳥や魚の標本, 絵図	平成28年 8 月11日・21日	東京新聞・NHK水戸放送局
市立中央図書館・博物館 休館, 耐震改修着工へ	平成28年9月8日	茨城新聞
吉田神社礼大祭	平成28年10月13日	茨城新聞
山車集結, 笛の音響く 吉田神社で礼大祭	平成28年10月15日	茨城新聞
弘道館で古文書虫干し	平成28年10月23日	毎日新聞
官学連携で街づくり 名古屋の梅村学園と協定	平成28年11月13日・15日	東京新聞・茨城新聞
光圀の功績 歴史を再考 水戸で番組収録	平成28年11月19日	茨城新聞
古道の活用考える 活動報告や専門家講演	平成28年11月20日	茨城新聞
大手門復元 来春にも着工 歴史景観のまちへ	平成28年12月10日	茨城新聞
弘道館「文館」復元を	平成28年12月16日	茨城新聞
現代日本のヒント 殿たちの遺産—水戸藩の未来学—	平成29年1月1日	毎日新聞
大切な文化財 火災から守れ 水戸の寺で訓練	平成29年1月28日	茨城新聞
弘道館「文館」復元へ	平成29年1月31日	茨城新聞
鹿島神社を文化財指定 本殿や拝殿, 設計図など	平成29年2月3日	茨城新聞・読売新聞
論語素読や図形合わせ 水戸で日本遺産講演会	平成29年2月9日	茨城新聞
聖徳太子像を御開帳 水戸・善重寺	平成29年2月23日	茨城新聞
偕楽園3000本の梅満開	平成29年3月5日	毎日新聞
水戸地域芸能, 11団体実演	平成29年3月6日	茨城新聞
「大根むき花」制作実演	平成29年3月14日	茨城新聞
弘道館復旧過程を紹介	平成29年3月9日	毎日新聞
好文亭ふすま絵大修理	平成29年3月15日	読売新聞

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

報道により、現場見学や資料提供等の問い合わせが県内外から集中するなどの反響があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	情報発信ツールの多様化に対応し、SNS等を積極的に活用しながら、本市の歴史的資源の公開活用を図る。

大手門復元 来春にも着工

水戸市 歴史景観のまちへ

安土桃山時代から明治期ごろにかけて、水戸市三
の丸地区にあったとされる水戸城の「大手門」や二
の丸角櫓・「土塙」の復元を進めている水戸市は、
2017年春にも、建物の建設工事に着手する。駅
前から眺望できる「水戸の顔」として歴史的なまち
づくりを進めるほか、観光交流拠点として19年度の
完成を目指していく。

市歴文化財課による調査と、これまでの調査研究で大手門や角櫓・土塙は、県立水戸三高の場所にあった計画。

大手門は弘道館東側の大手櫓を護った市立水戸二中



と茨城大付属小の敷地にまたがる形で復元する。木造2階建て、高さ13・3メートル、幅17・2メートル、延べ床面積118・8平方メートルの建物を、6億2400万円かけて建設する。

復元後は一般車両を通行止めとするため、門がまたぐ部分の市道は廃道になる。開口部の幅は5・7mで、24時間開閉する。通行は歩行者や自転車、緊急車両に限定する。

このほか、同公園小動物の南西側には角櫓を再現したJR水戸駅北口のペDESTリアンデッキから眺望できる場所であるため、駅前の歴史的景観向上も期待できる。建物は本造り階建てで、角櫓内部には常設の屋内展

示場も設ける予定だ。
大手門から角櫓を経て、水戸三高と同伴の境界部までの区間には、高さ約1・8m、延長約500mの土塙も整備。塙の上を歩くと、歩いて登るほか、下部を板張りにして車庫感ある外観に仕上げる。

いずれも茨城団体が開かれる19年秋までに完成する予定。市歴史文化財課は「大手門などの復元により、歴史のまちづくりを進め、引込館を含めた周辺の観光客誘致促進につなげたい」と述べている。

(牛久保市役所 提供)

水戸市教委
鹿島神社を文化財指定
本殿や拝殿、設計図など

水戸市教養会は2日、同市の丸丁町の鹿嶋神社の本殿、拝殿やその設計図などを市指定文化財に加えた。伊勢神宮・三重県伊勢市へ遷じより建築物一式が移築された歴史的に珍しい事例として、歴史的な価値が評価された。今回の追加により、市指定文化財は計107件となった。

指定は昨年8月、鹿嶋神社の会長が「1月に、建築物の構造が、木材で、文法が、方角を尊重し、文意が、万葉集を模範とし、古くから、神社に由来するものである」と市指定を受けるたのは、鹿嶋神社の本殿、拝殿と神社に



水戸市指定文化財となった鹿島神社＝水戸市三の丸

門社を興し、神垣のほか、これに附する日品の設計圖に、それも974年に行われ伊勢神の式年遷宮の後、風の神坐る別當に於て、移築され、市救急にあつて、伊勢神宮の社殿は舊址に内建設計後年で解壊され、建材の一部が各城の神に譲渡されることは多いが、社殿一式が多量に失はれるケースは全国でも珍しい。

以上、肥前県に施工会社による、惣工に施工要領が記れており、構造的な要素を簡明として説明が秀で、

肥前神社は古く薄代藩

主、川崎有昭が創設した藩校「弘道館」の主要施設として、1857年に建立した当初の社殿は、1945年の空襲により焼失している。

弘道館は2015年4月に、近江日本の教育遺産群の一つとして、市教委登録された。市教委歴史文化財課は、「（弘道館の）世界遺産登録を目指す中で、主要施設が市の指定文化財となるのは非常に意義深い」と話している。

（前掲書）

茨城新聞
平成29年2月3日



※茨城新聞より転載許可済



水戸市 
@kouhou_mito

水戸市の公式アカウントです。イベントなどの情報のほか、災害に関する情報などをつづります。ご意見・お問合せについては、文字数の都合上十分な回答ができない場合がありますので、市民相談室へご連絡いただく方が確実です。
bit.ly/14Wtwo また、携帯電話からは、リンク先がご覧になれない場合があります。

ツイート	フォロー	フォロワー	いいね	リス
36,382	11,186	19,085	83	2

ツイート ツイートと返信 メディア

水戸市さんがリツイート

エンタ○1文化振興会 [@entan01](#) · 1時間

Twitterを使ってみよう

登録してあなただけのタイムラインを作りましょう

2000 年 12 月 1 日

[アカウント作成](#)

こちらもおすすすめです [更新](#)

茨城県

水戸市ツイッター

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成29年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成29年6月29日(木) 午前10時00分～ (会場:水戸市総合教育研究所 研究室7)	
(コメントの概要)	
1 進捗評価シートについて (1)弘道館公園整備事業について(3頁) 昨年度末、県が弘道館の保存活用計画を策定した。今後はその計画に従って中長期的な視点からも弘道館の整備が行われるだろう。弘道館と偕楽園は世界遺産の暫定リスト入りを目指して運動を展開中であり、施設の補修整備や支障木の伐採による景観の向上のほか、建造物の復元など世界遺産にふさわしい整備事業を県と市が協力して執り行ってもらいたい。 (2)備前堀沿道地区都市計画形成助成事業について(4頁) 昨年度は地元からの助成の申請がなかった。すでに地元の景観推進協議会と協議の場を設けているが、今後とも協議や勉強会を続けて地元からの申請を促すよう努め、必要に応じた積極的な助成を行うことで、さらなる歴史的景観の向上を図る必要がある。 2 第2期計画策定について 来年度で、現在進めている歴史的風致維持向上計画が10年一区切りとなる。歴史まちづくりの整備が進んでいるが、今後も水戸にふさわしい歴史的景観が形成されるよう、計画的な事業を進める必要がある。また、水戸城周辺以外の整備も、継続して行う必要がある。そのためにも、第2期計画の策定を進めてほしい。 3 「水戸城大手門、二の丸角櫓、土堀整備事業」について 今年度よりいよいよ水戸城大手門の復元事業が始まった。これは歴史的風致維持向上に貢献する重要なプロジェクトである。水戸の人々に郷土への関心を高める機会となり、また市外の方には水戸に関心をもってもらえる大きなチャンスともなるだろう。市においては大手門の工事が順調に進行するとともに、引き続いて二の丸角櫓と土堀の復元整備に向けて事業を円滑に進めることが重要である。県にも積極的な協力をお願いしたい。	
	
協議会の開催状況	
(今後の対応方針)	
・水戸城大手門、二の丸角櫓、土堀整備など、歴史的風致維持向上に貢献する重要なプロジェクトが進行中のため、これまで以上に県と市が積極的に連携して、事業を推進する。 ・備前堀沿岸地区都市計画形成助成事業の推進のため、今後も市と地元の協議会との協議を進める。 ・来年度の第2期計画策定を視野に入れて、今年度より準備を進める。	